

日英混合タッグの 唸りたくなる新感覚

雑 誌を作っていると、ときたまうらやましー、と身悶えさせられることがある。イギリス・

ロンドン発行のフリーマガジン「Exposure」(エクスポージャー)もそのひとつ。もともとは日本のレコード会社に勤務していた女性が、絵本を学ぶために渡英したのがきっかけ。フジヤマ・ゲイシャではない「いまの日本」こそをロンドンっ子が面白がるのを捉え、'95年に創刊した。誌面はフリーであることと、ロンドンからの発信であることを最大限利用している。商業誌ではなかなか登場しない両国のクリエイターを口説き落として記事や作品を載せるなど、ただなら



ぬパワーがある。特集ネタも個性的で、コギャルに少女マンガ、ゲーム……。さてそのエクスポージャーの最新号はテーマがJapanese Alternative Music。スーパーカーやラプサイケデリコ、ナンバーガールなどそうそうたるミュージシャン9組のインタビューにプラスして、彼らの曲をCDにしてつけている。レーベルを超えたコラボレーションを実現させたのは、フリーだからか? 編集者の力なのか? 後者だとわかっているからホント、うらやましいのだ。

1の表紙は「ルーマニア」の谷田一郎氏。
2はnendo graphics 3はPete Fowler氏。日本でも数店のショップに置いてある。詳細は<http://beatuk.com/e-bee> 4は世界中の顔を撮るクリエイター水谷孝次氏ががけ、エクスポージャーが発行した別冊の「Merry-london life」。



Photo/AOKI takenori(WP)